

随筆
第九八回

秋の旭カラー (秋の三大イベント)

市長 明智忠直



全国の各自治体では、年間の企画としてさまざまな特徴あるイベントを開催し、自治体のPR、交流、にぎわいなどを創生していこうと、工夫を凝らして取り組んでいると思います。旭市においてもこの秋、市を代表する大きな事業を実施しました。市民体育祭、文化祭、産業まつりです。それぞれが市民の絆づくり、交流、元気を内外にPRするには大きな意義がある行事であります。

市民体育祭はスポーツの秋にふさわしい天候の中、約5千人が参加し、多くの成果が作り上げられたものと思っております。

10月末から11月5日までの間は、文化祭が開催されました。文化協会の皆さんの献身的な努力により、市内4会場で芸能、芸術、囲碁、茶道など素晴らしい発表や展示があり、それぞれの道の奥深さ、美しさ、技術の向上を、ただただ感動をもらいながら見学させていただきました。

日々の会員の皆さんの努力、そして持つて生まれた才能を伸ばし磨き上げた成果に、見学者一人一人が心から拍手を送ってくれたことと思います。これからも会員の皆さんには一杯頑張っていただきたいと願うところであります。

11月12日には産業まつりが開催されました。統一して海上の会場になって2回目、心配された天候も晩秋の澄みきった空の下、90団体の出店があり、早朝から大勢の人々でにぎわいました。旭市の産業をPRする最大の行事であり、会場の広さや地域の情熱が、この産業まつりを盛り上げてくれた要因でありました。4万人以上が来場し、市のイメージを知ってもらう絶好の機会であり、みんなが満足して、喜んで「旭市」を感じてくれるよう、これからも充実した、県東地区最大の産業まつりにしていきたいと思う1日でもありました。

市図書館だより

開館時間／火～金曜日…午前9時～午後6時
土・日曜日…午前9時～午後5時
今月の休館日／21日(木)、23日(土・祝)、29日(金)～31日(日)、毎週月曜日
岡市図書館 ☎62-2560 <http://www.library-asahi-chiba.jp/>

今月のおすすめ

「エッグマン」



辻仁成 著
(朝日新聞出版)

片思いの相手とその一人娘に再会した、元シェフのサトジ。彼の作る卵料理が、3人と周囲の人々の絆を深めていきます。

「ジゼル」



秋吉理香子 著
(小学館)

15年前の不祥事で封印された演目「ジゼル」の公演が決定した。その矢先、幽霊騒動や大けがなど次々とバレエ団に事件が起こる。

新着図書

- 生きていくあなたへ (日野原重明)
- 美しい科学の世界 (伊知地国夫)
- 十二支読本 (稲田義行)
- 刺し子の手しごと (日本文芸社)
- うれしい副菜 (瀬尾幸子)
- ニッポンの地方野菜 (内田悟)
- 能 (安田登)
- 図説日本の文字 (今野真二)
- 古事記 (梅原猛)
- トッピーグ (相場英雄)
- 蘇える鬼平犯科帳 (池波正太郎)
- ホワイトラビット (伊坂幸太郎)
- 西郷の首 (伊東潤)
- 愛のかたち (岸恵子)
- 星ちりばめたる旗 (小手鞠るい)
- 砂上 (桜木紫乃)
- 千の扉 (柴崎友香)
- 高架線 (滝口悠生)
- 乗りかかった船 (瀧羽麻子)
- 教場0 (長岡弘樹)
- 千夜と一夜の物語 (仁木英之)
- アゲハの公約 (三萩せんや)
- 百貨の魔法 (村山早紀)
- 守教 上・下 (帯木蓬生)
- アナログ (ビートたけし)
- 茶筌の旗 (藤原緋沙子)
- 湖底の城 八巻 (宮城谷昌光)
- きっと誰かが祈ってる (山田宗樹)

おはなしの時間

幼児向けの絵本の
読み聞かせ

日時／12月14日(木) 午後4時30分～5時
28日(木) 午後4時～4時30分
場所／市民会館